

安全上のご注意

1. このページに記載される安全上のご注意をよくお読みください。
2. ユーザーズマニュアルは今後のために大切に保管してください。
3. 掃除をする前に、この装置をAC電源から取り外してください。
掃除をする際は、液体やスプレー洗剤をご使用にならないでください。
湿った布などで掃除してください。
4. 装置はコンセントの近くに起き、コンセントに届きやすいよう設置してください。
5. 装置は湿気のある場所に置かないでください。
6. 装置を安定した場所に置いてください。装置を不安定な場所に置くと、落ちたり、破損の原因になることがあります。
7. 装置についている穴は通気孔です。装置の加熱を防ぐためのものです。これらの穴は絶対にふさがないでください。
8. 電源に接続するときは、電圧をお確かめの上、接続してください。
9. 電源コードは通行などの邪魔にならないよう配置してください。電源コードの上には何も置かないでください。
10. 装置に関するすべての注意事項および警告事項をよく守ってください。
11. 装置を長期間ご使用にならない場合は、変圧器の破損を防ぐため、コンセントから外しておいてください。
12. 火災や感電の恐れがありますので、穴などに液体を注ぎ込まないでください。
13. 装置の解体は絶対におやめください。安全上の配慮から、装置の解体は専門技師にのみ許可されています。
14. 次のような状況が発生した場合は、すぐに専門技師にお問い合わせください:
 - (a) 電気コードやプラグが破損した場合。
 - (b) 装置に液体がこぼれた場合。
 - (c) 装置が湿気のある場所に置かれた場合。
 - (d) 装置がうまく作動しない場合や、ユーザーズマニュアル通りに操作しない場合。
 - (e) 装置を落としたり、破損した場合。
 - (f) 装置に明らかな破損の傾向がある場合。
15. この装置は、エアコンのない密封環境に放置しないでください。60°C (140°F)以上の場所に保管すると、装置を破損する恐れがあります。また、IEC704-1:1982に基づく装置の音量圧力レベルは、70dB(A)(を含む)以下です。
16. 危険: この装置を開くと、目に見えない放射能が発生しますので、直接触れないでください。
FDA放射線標準、21 CFR第J項を満たしています。
レーザーパワー: ウェーブ長さ: 783±3nm
放出能力: 0.7mW
レーザーダイオード: class 3b

ご注意

!! ドライブを自ら解体しないでください。カバーを取り外すと、危険性のあるレーザー光線や電圧に触れる恐れがあります。欠陥のあるドライブは、お買い上げ店に返品し、専門技師に修理を依頼することを強くお勧めします。

- ドライブの郵送や返品には、本来の梱包をお使いください。この商品の梱包は、ドライブが運送条件に耐えるよう設計され、テストされています。
- CD-RW ドライブを直射日光のあたる場所や、過熱の恐れのある場所、電気製品の付近に放置しないでください。
- 柔らかい、きれいな布でドライブを掃除してください。ドライブが湿気や液体(水、洗剤などを含む)に触れないようご注意ください。
- CD-R/RWディスクは清潔に保ちましょう。録音/録画前に柔らかい、きれいな布でCD-R/RWディスクの表面をふき取ることをお勧めします。
- ドライブを落としたり、ぶつけたりしないでください。
- CD-RW ドライブの周囲は、ほこり、煙などがないよう、清潔な環境を保ってください。
- 各国の著作権法が各著作の再製などを管理しています。CD-RWをご利用になる際は、無許可で著作を再製することが違法となることもありますのでご注意ください。
- HDDからデータをコピーする方が、"オン・ザ・フライコピー モード"でコピーを実行するよりも成功率が高くなっています。よって、HDDに十分なバッファースペース(最低800MB)を残しておくことをお勧めします。

目次

はじめに

| | |
|------------------------|---|
| ドライブとは | 4 |
| フォーマットの互換性と記録モード | 4 |
| ドライブでできること | 5 |

システム構成

| | |
|--------------|---|
| システム環境 | 6 |
|--------------|---|

機能と調整

| | |
|----------|---|
| 前部 | 7 |
| 後部 | 8 |

インストール

| | |
|-------------------------|----|
| CD-RW ドライブのインストール | 9 |
| IDE ドライブの設定 | 9 |
| ジャンパの交換 | 11 |

オペレーション

| | |
|------------------------|----|
| デバイス・ドライバのインストール | 14 |
|------------------------|----|

| | |
|---------------------|----|
| トレイのロードとアンロード | 14 |
|---------------------|----|

CDへの書き込み

| | |
|-----------------------|----|
| ソフトウェア&マニュアルの記録 | 15 |
| ディスク | 15 |

CDの再生

| | |
|------------------|----|
| オーディオCDの演奏 | 16 |
|------------------|----|

トラブルシューティング

| | |
|---------------|----|
| 読み込みの問題 | 17 |
| 書き込みの問題 | 19 |

はじめに

信頼性の高い高パフォーマンスなCDリライター、CDレコーダー、CDリーダーである、本ドライブをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本マニュアルを注意深くお読みになり、いつでも取り出せるよう保管してください。インストール、操作、トラブルシューティングに関し、本マニュアルをご参照ください。

ドライブとは

ドライブとは CD-再書き込み可能なドライブで、書き込み、再書き込み、読み込みのプロ級のCDパフォーマンスを提供します。本多用途ドライブの主な特長は:

- CD-R (記録可能CD) メディアへの書き込み
- 高速 CD-RW (再書き込み可能CD) メディアへの書き込み
- 全てのCD-ROMとCD-Rメディアの読み込み

(注: 本ドライブの書き込み、再書き込み、読み込みの最大速度は外箱に記載されています。)

ドライブはRunning OPC (ROPC)をサポートし、Windows Plug & Playとも互換性があります。フラッシュメモリを使えばドライブを最新のファームウェアリビジョン（ウェブサイトより入手可能）へドライブを開くこともなくアップグレードできます。バッファアンダーランプルーフテクノロジーがバッファアンダーランエラーを解消しますので、CD-RやCD-RWディスクへの書き込みの最中でも、安心して他の用途のためにコンピューターをお使いいただけます。

フォーマットの互換性

本ドライブは、多用途光ディスクドライブです。書き込み機能では、オレンジブックPart2/ part3/ volume2: high speedに準拠したデータを、書き込みアプリケーションソフトウェアを使ってCD-R/RWディスクに書き込むことができます。全てのCDフォーマットメディアもサポートします: CD-DA, CD-ROM, CD-ROM/XA, Photo-CD, マルチセッション, Karaoke-CD, Video CD, CD-I FMV, CD Extra, CD Plus, CD-R, CD-RW

レコーディングモード

トラックアットワンス

一度に一トラックのデータをディスクに記録することができます。新しいトラックは後に追加できます。音楽CDは、ディスクが完了するまで、CDプレーヤーやCD-ROMでは再生できません。

ディスクアットワンス

一度にデータをディスクに記録することができます。このモードでは、新しいトラックを後に追加することはできません。

セッションアットワン

一度にワンセッションのデータを一枚のディスクに記録することができます。新しいセッションは、このモードの後で書き込まれます。トラック間にギャップがないため、更に多くのディスクスペースを使用することができます。

マルチセッション

ワンセッションのデータを一枚のディスクに記録することができます。新しいセッションは、このモードの後で書き込まれます。トラック間にギャップが生じるため、使用できるディスクスペースは減少します。

パケットライティング

データのバックアップに効果があります。データは、直接CD - R/RWメディア上のトラックに加えられるか、直接CD - RWメディア上みトラックのみから削除されます。このモードを使用する場合、パケットライティング機能をサポートしたソフトが必要となります。

ドライブでできること

- 追記型、書換可能CD メディア上におけるデータ書き込み及びオーディオ記録。
- 音楽CDの演奏。
- VCD 映画の上演。
- 写真および他のイメージを追記型、書換可能CDにセーブします。
- イメージおよび動画をCDに記録します。
- CD上で新しいソフトウェア・プログラムをマスターします。

システム構成

システム環境

安定した読み込み/書き込み/書き換えパフォーマンスを保証するために、次の特徴を持つIBM互換性PCシステムが推薦されます。

| | |
|----------|---|
| CPU | Pentium III 500 MHz以上 |
| OS | Microsoft Windows 98SE/ME/2000/XP |
| メモリ | ご使用のオペレーティングシステムに要求されるRAMに対応。(128MB以上を推奨) |
| ハードドライブ | 平均シークタイム20ms以下 通信速度2MB/sec以上 650MB以上が利用可能な容量 (オペレーション間のHDDのサーマル・カリブレイションを可能にしない) |
| インターフェース | 空のIDEインターフェースコネクタ |

注意事項:

高速のハードドライブによっては「自動サーマル・リカリブレイション」ファンクションが装備されている場合があります。書き込みエラー(バッファ・アンダーラン)を回避するために、BIOS設定においてそのファンクションを無効にしておいてください。

機能と調整

正面図

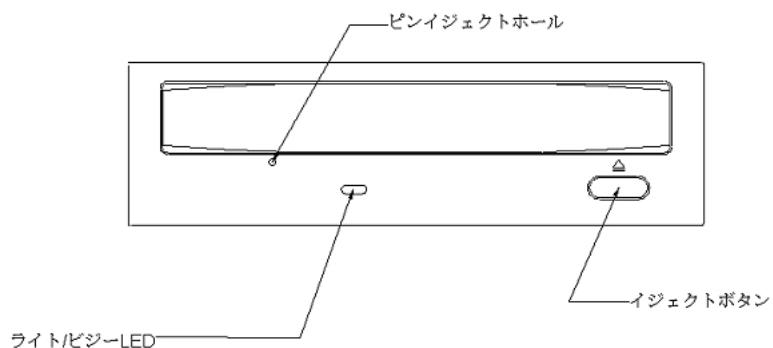


図: ドライブの前部

| | | |
|----------|-----------------|--|
| A | イジェクト/クローズボタン | トレイを引き出す/閉じるための押しボタン。 |
| B | ビジー/書き込みLED | ドライブの作業状態を示します。点灯はビジー状態を示し、点滅している場合は書き込み/再書き込みの状態を示します。 |
| C | エマージェンシイジェクトホール | イジェクト・ボタンが機能しない場合、このホールに小さな棒やクリップの先を差し込んでください。トレイを引き出すことができます。 注意: この手動でのトレイ引き出を実行する前に、電源をオフにしてください。 |

背面図

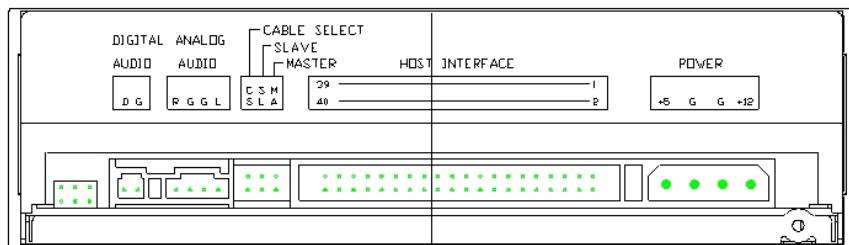


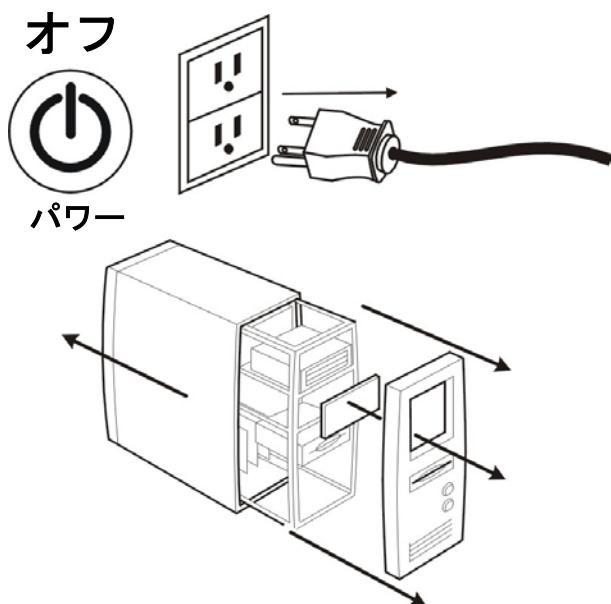
図: ドライブの後部

| | | |
|---|--------------------|--|
| A | パワーコネクタ | DCパワー入力に対する4ピン・コネクタです。 |
| B | ホストIDEインターフェースコネクタ | E-IDEインターフェースに対する40ピン・コネクタです。 |
| C | デバイス構成ジャムバー | ドライブモードをIDEマスタ、スレーブ、ケーブルなどに設定するための6ピン・ジャンパ・コネクタです。 |
| D | アナログオーディオ出力コネクタ | アナログオーディオ出力に対する4ピン・コネクタです。サウンドボード、オーディオ・アンプに接続に使用します。 |
| E | デジタル・オーディオ出力コネクタ | デジタル・オーディオ・データに対する2ピン・コネクタです。ソニー/フィリップスのデジタル・インターフェース(SPDIF)またはデジタル・インをサポートするサウンド・ボードに接続します。 |

CD-RW ドライブのインストール

この章ではコンピュータに CD-RW ドライブのをインストールする手順を説明します。インストール方法は以下の通りです：

1. コンピュータシステムの電源をオフにし、コンセントからプラグを抜いてください。
2. コンピュータのカバーを外します。



3. マスタ/スレーブ・ジャンパを CD-RW ドライブの後部パネルにセットします。

(ハードディスクドライブ及び CD-RW ドライブに対する最高のオペレーションを実現するため、マスタ・デバイスとしてのセカンダリIDEポートに CD-RW ドライブを接続することを推奨します。)

◆ IDE ドライブの設定:

(A) ハードディスクは、プライマリIDEポート上のマスタ・デバイスとして接続されています。セカンダリIDEポートには何も接続されていません。

→ CD-RWのジャンパをマスタにセットし、そして、マスタとしてのCD-RWをセカンダリIDEポートに接続します。

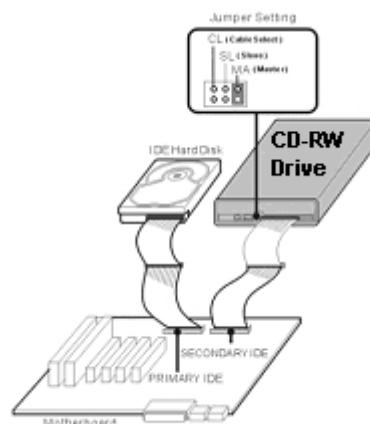


Figure: Configuration (A)

(B) ハードディスクは、プライマリ IDEポート上でマスタ・デバイス、CD-ROM、DVD - ROMでスレーブとして接続されました。セカンダリ IDEポートには何も接続されていません。

→ CD-RWのジャンパをマスタにセットし、マスタとしてのCD-RWをセカンダリ IDEポートに接続してください。(ファスト・コピー/オン・ザ・フライコピーをお求めの場合、この設定により最速のコピー・スピードが実現できるでしょう)

→ CD - ROMあるいはDVD - ROMを取り外し、それをスレーブに変更してセカンダリ IDEポートと再び接続してください。そしてCD-RWのジャンパをマスタにセットし、マスタとしてのCD-RWをセカンダリ IDEポートと接続してください。(この設定はハードディスクに最高の結果をもたらします。CD - ROMと一緒に稼動している場合でも、ハードディスクのアクセス・スピードが減速することはありません)。

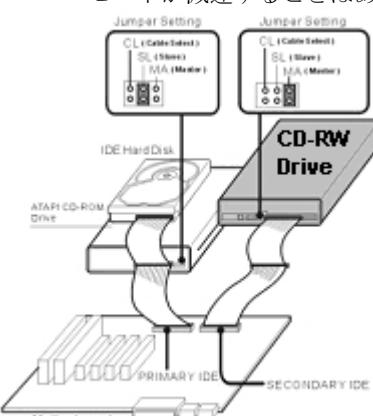


Figure: Configuration (B-1)

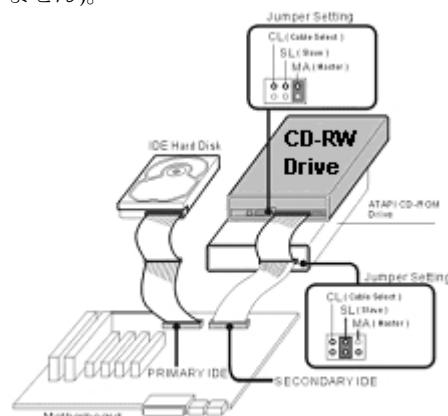


Figure: Configuration (B-2)

(C) ハードディスクは、プライマリ IDEポート上のマスタ、およびスレーブデバイスとして接続されました;CD - ROM、DVD - ROMは、セカンダリ IDEポートでのマスタとして接続されました。

→ CD - ROMあるいはDVD - ROMを取り外し、それをスレーブに変更してセカンダリ IDEポートと再び接続してください。そしてCD-RWのジャンパをマスタにセットし、マスタとしてのCD-RWをセカンダリ IDEポートと接続してください。

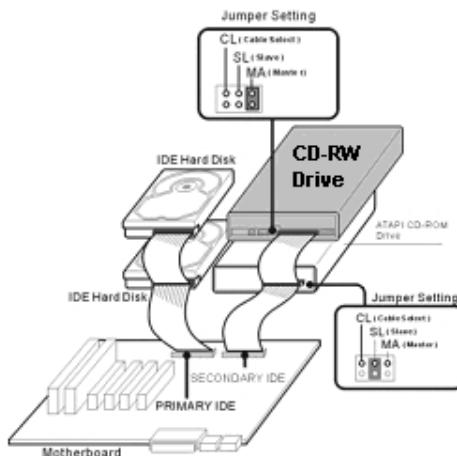


Figure: Configuration (C)

◆ジャンパの交換:

マスタ/スレーブジャンパは、CD-RW ドライブをマスタもしくはスレーブデバイスにセットするために使用されます。以下はジャンパ設定の実例図です。

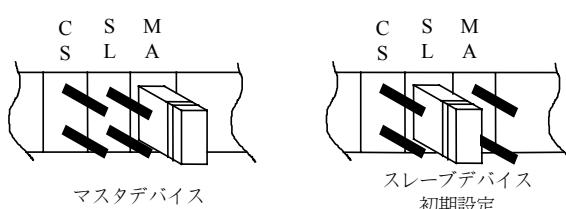


図: マスタ、スレーブデバイスの設定。

注意:MAおよびSLセットのため、同時に2つのジャンパを使用しないでください。

CS (CSEL)

CS設定を選択した場合、ハードウェア構成に応じ自動的にマスタ/スレーブ設定が行われます。

4. CD-RW ドライブとケーブルの接続

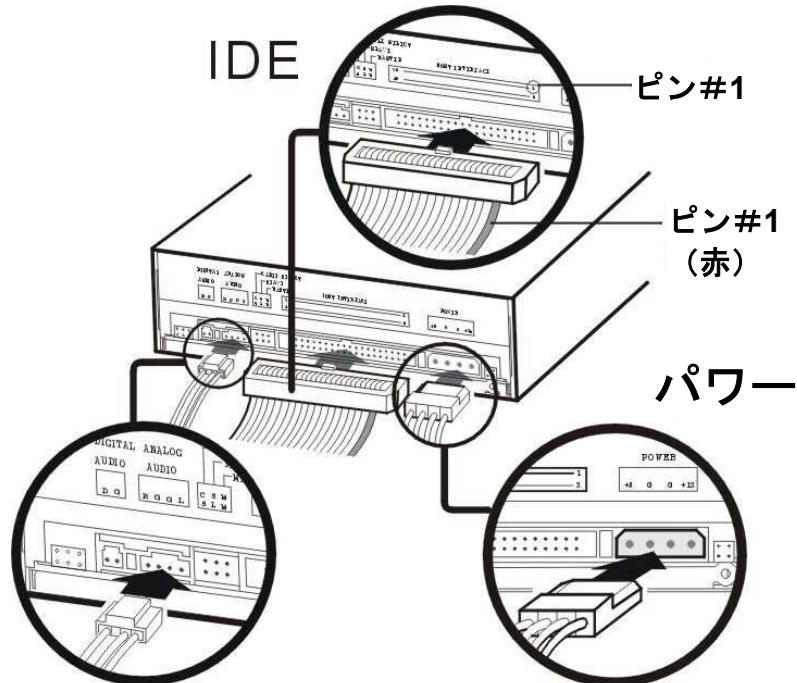
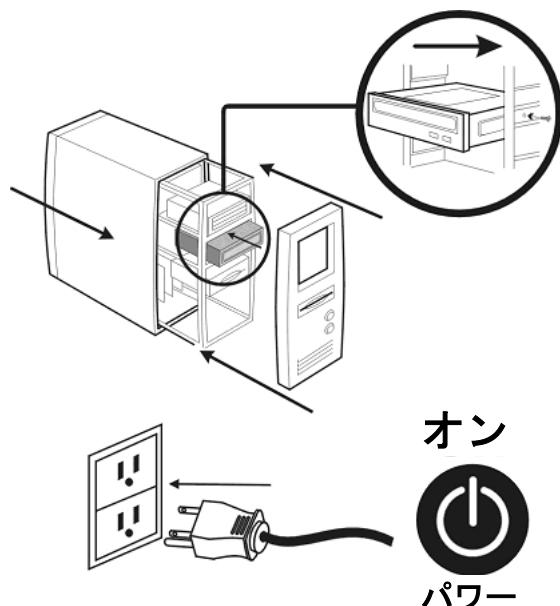


図: ケーブルの接続

- (A) IDEケーブル: ドライブをコンピュータに挿入する前に、IDEケーブルの片方のコネクタをドライブの後部パネル上のIDEコネクタに接続します。そしてオープンベイの前面からマザーボードへケーブルを渡します。
- (B) パワー・ケーブル: コンピュータとドライブのパワーコネクタにパワーケーブルを接続します。ほとんどのコンピュータで、フリー・パワーコネクタが事前に設定されています。
- (C) オーディオ・ケーブル(オプション): サウンドボードをご利用の場合、アナログ・オーディオ・ケーブルを接続する必要があります。ドライブ後部パネル上の4ピン・アナログ・オーディオ出力コネクタと、サウンドポートをケーブルで接続してください。お手持ちのサウンドボードがソニー/フィリップスのデジタルインターフェース(SPDIF)、あるいはデジタル・インを装備してあり、デジタル・オーディオ出力を利用する場合は、デジタル・オーディオ・ケーブルをご使用ください。

5. 空の仕切り部分に CD-RW ドライブを水平に注意深く滑り込ませ、しっかりと組み込ませてください。そして、コンピュータカバーを元に戻してください。
6. コンピュータをコンセントに接続し、電源スイッチを入れてください。



オペレーション

デバイス・ドライバのインストール

ドライブはWindows上でインストール、およびセットアップのための“CD-ROM ドライブ”的役割を果たします。また、ドライブの全ての機能を利用するため、追加のソフトウェアをインストールを求められる場合があります。

コンピュータで 使用するためには:

- ◆ **CD - ROMとして使用する場合:** Windowsオペレーティングシステム(WindowsXP、WindowsME、Windows2000、Windows98およびWindows95)のほとんどで、一般的なCD - ROMデバイス・ドライバ(ドライブが標準のCD - ROMドライブとして使用可能)として使用できます。他のソフトウェアをインストールする必要はありません。
- ◆ **CD-R/CD-RWとして使用する場合:** CD - R、CD - RWメディアに書き込みを行うには、追加ソフトが必要となります。パッケージに含まれる書き込み用ソフトウェアキットにより、CDのマスタリング、ハードディスクやファイルのバックアップ、オーディオ・キャプチャ、CDコピーなどの機能をご利用になれます。

トレイのロードとアンロード

- (1) ドライブの電源がオンになっている時に、フロントパネル上のエJECTボタンを押してください。数秒後にトレイが自動的に引き出されます。
- (2) トレイのへこみ部分にディスクをラベルを上にして置きます。ディスクが平らなるよう気をつけてください。

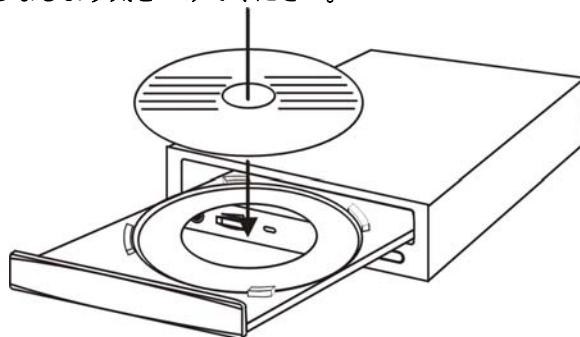


図: トレイをロードします

- (3) エJECT・ボタンをもう一度押すと、数秒以内にトレイはCOMBO内部にスライドして戻ります。

CDへの書き込み

ソフトウェア&マニュアルの記録

CDキットに含まれているリコーディング・ソフトウェアは、その使い易さにより最高の結果をもたらします。リコーディング・ソフトウェアをインストールする際に、ご使用のコンピュータに詳細なユーザマニュアルが自動的にインストールされます。詳しい操作方法は、ユーザマニュアルをご参照ください。

ディスク

従来の読み取り専用ディスク、あるいはリライト可能のCD - R/RWディスクをご使用ください。

CD - R/RWメディア (推奨品)

CD - R/RWの品質によっては、書き込みができない場合があります。下のリストの正常な動作が確認されたCD - R/RWメディアのご使用を推奨します。

| | | |
|---------------------------|---|---|
| CD-Rメディア: |  | 4M, AMT, CMC, Csita, Cursor, Delphi, DST, E-TOP, ESPRIT, Ever Media, Fornet, Fujifilm, GAT, GigaStor, GQ, InfoDisc, KingPro, Kodak, LeadData, Maxell, Mitsubishi, Memorex, Mirage, Mitsumi, MoserBaer(India), MPO, NanYa, Plasmon, Postech, Princo, Prodisc, RAMedia, Ricoh, Ritek, SAST, SKC(Korea), SONY, Taroko, TDK, TY, Verbatim |
| Low Speed CD-RWメディア: |  | AMT, CdBoss, CMC, CompUSA, DataStone, Ever Media, Fornet, Gigadata, GigaStor, LeadData, Maxell, MBI, MCW, Mitsubishi, Philips, Pony, Power, Princo, Ricoh, Ritek, TetaSys, Verbatim, Winner |
| High Speed CD-RWメディア: |  | AMT, CMC, CompUSA, Cursor, Fornet, Imation, Infodisc, Maxell, Mitsubishi, NanYa, Plextor, Postech, Prodisc, Ricoh, Ritek, SKC(Korea), TDK |
| Ultra Speed CD-RWメディア: |  | CMC, DAXON, InfoDisc, Mitsubishi, NanYa, ProDisc, Ricoh, Ritek, SKC(Korea) |

注意: このリストは予告無しに変更されることがあります

CDの再生

オーディオCDの演奏

オーディオCDを再生のためには、オーディオ・ケーブルをドライブ後部上のアナログ・オーディオ・コネクタと、もう一方の端子をサウンドボードと接続してください。

サウンドボード経由で音楽を再生する場合、Windows Media PlayerまたはCD Player Taskbarのボリューム・コントロールで音量を調整します。またサウンドボード上で音を消し、ヘッドホンやセルフ・パワー式のスピーカで音楽を聞くこともできます。

トラブルシューティング

CD-RW ドライブの取り付けまたは通常使用中に問題が生じた場合は、以下の情報を参照してください。

読み取りの問題

| 症状 | 考えられる原因 | 対策 |
|---|----------------------------------|---|
| CD-RWドライブが認識されない | IDEケーブルとCD-RWドライブが正しく接続されていない | <ul style="list-style-type: none"> IDEケーブルのコネクタをメインボードとCD-RWのIDEポートに正しく接続する |
| | 他のIDEデバイスと衝突している | <ul style="list-style-type: none"> CD-RWのマスター/スレーブデバイス設定が同じIDEポートに接続されている他のIDEデバイスと衝突していないかどうかチェックする |
| | 電源が入っていない | <ul style="list-style-type: none"> CD-RWドライブのLEDが点灯しているかどうかチェックする。点灯していない場合は電源が入っていない |
| 音楽CDを再生しているが外部スピーカーから音がしない | サウンドカードが正しく動作していない | <ul style="list-style-type: none"> CD-RWドライブのヘッドホンジャックにスピーカーを接続して音楽CDを再生する。スピーカーから音がする場合、ドライブに問題はない CD-RWドライブとサウンドカードが正しく接続されているかどうかチェックする (MCI) CD-Audioのドライバがインストールされているかどうか確認する |
| CD-RWドライブからのサウンドが小さい | Windowsのオーディオミキサーのレベル設定に問題がある | <ul style="list-style-type: none"> 各オーディオミキサーのマスター、CD、ラインのレベル設定に問題がないかどうかチェックする |
| | CD-RWドライブとサウンドカードを接続するケーブルに問題がある | <ul style="list-style-type: none"> オーディオケーブルがCDとサウンドカードのライン入力に正しく接続されているかどうか確認する |
| <ul style="list-style-type: none"> フォトCDディスクが表示できない マルチセッションディスクの最初のセッションだけが読み取れる フォトCDの画像を読み取ろうとするとエラーメッセージが表示される | フォトCDディスクに問題がある | <ul style="list-style-type: none"> 別のフォトCDディスクを再生して正しく読み取れるかどうか確認する。問題がなければ、問題のあるディスクを交換する。 |

| 症状 | 考えられる原因 | 対策 |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 2回以上書き込みをしたCD-RWディスクの前のセッションが読み取れない 読み取りエラーが返される | ソフトウェアで「内容のロード」または「セッションのインポート」がチェックされていない | <ul style="list-style-type: none"> 「内容のロード」または「セッションのインポート」をチェックしないで書き込みを行った場合、読み取りは不可能。Adaptecの「セッション選択」といったユーティリティソフトウェアを使用している場合は、前のセッションが読み取り可能 |
| | CD-ROMディスクに問題がある | <ul style="list-style-type: none"> ディスク表面に大きなキズや指紋などがある場合、ドライブの読み取りができないことがある。ディスクは常にきれいにしておくこと |
| <ul style="list-style-type: none"> 2回以上書き込みをしたCD-RWディスクの前のセッションが読み取れない 読み取りエラーが返される | 音楽CDが挿入されている | <ul style="list-style-type: none"> オーディオCDにはコンピュータデータが含まれていないので、オーディオCDがドライブに挿入されている場合、コンピュータコマンドを入力するとエラーメッセージが返される |
| | ディスクが上下反対に挿入されている | <ul style="list-style-type: none"> トレイからディスクを取り出し、ラベル面を上にして挿入する |
| 読み取り時に余分なノイズが発生する | 問題のあるディスクが装着されている | <ul style="list-style-type: none"> ディスクを交換する |
| | 表面にシールが貼られている | <ul style="list-style-type: none"> ディスクを傷つけないようシールを注意深くはがす |
| 動作しない | 電源が入っていない | <ul style="list-style-type: none"> 電源コードがコネクタに正しく接続されているかどうかチェックする |
| | IDEケーブルが正しく接続されている | <ul style="list-style-type: none"> IDEケーブルやコネクタに問題がないかどうか確認する。特にピンをよくチェックする |
| トレイが取り出せない | ソフトウェアでロックされている | <ul style="list-style-type: none"> Windows95/98/NT 4.0を使用している場合、CD-RWがロックされていないかどうか確認する |
| | CDがトレイに正しく装着されている | <ul style="list-style-type: none"> 緊急取り出し口を使って取り出す。クリップを使っても取り出せない場合はピンセットまたはペンチを使用する |
| マルチセッションディスクの最初のセッションだけが読み取れる | 直前の書き込みで「ディスク終了」が選択されていなかった | <ul style="list-style-type: none"> 前のデータ書き込みセッションが終了したため、追加セッションの読み取りができない。他のCD-R/RWメディアを使って書き換える |
| パケットライトで書き込まれたCD-RWディスクの初期化が他のCD-ROMできない | CD-RWディスクが「ランダムライト」でフォーマットされている | <ul style="list-style-type: none"> CD-ROMドライブは「ランダムライト」でフォーマットされたCD-R/RWディスクの初期化/読み取りはできない。ディスクを読み取りたい場合は、CD-RWドライブを使用するか、CD-ROMドライブの「ランダムライト」の読み取りを可能にするUDFリーダをAdaptecのWEBサイトからダウンロードしてPCにインストールする |

書き込みの問題

| 症状 | 考えられる原因 | 対策 |
|--------------------------|--|---|
| 書き込みできない | このCD-RWドライブに対応していない他の作成ソフトウェアを使用 | <ul style="list-style-type: none"> CD-RWドライブに同梱の作成ソフトウェアを使用する。他のソフトウェアを使用する場合は、このCD-RWドライブをサポートしているかどうかソフトウェアのサプライヤーに確認する |
| | ディスクが上下反対に挿入されている | <ul style="list-style-type: none"> ディスクを取り出し、ラベル面を上にして挿入する |
| | ハードディスクの容量が足りない | <ul style="list-style-type: none"> 通常、データの書き込みには書き込み方法により1.2から2倍の容量が必要とされる |
| 書き込みできない | 電源が入っていない | <ul style="list-style-type: none"> 電源コードがコネクタに正しく接続されているかどうかチェックする |
| | IDEケーブルが正しく接続されていない | <ul style="list-style-type: none"> IDEケーブルやコネクタに問題がないかどうか確認する。特にピンをよくチェックする |
| 書き込みエラーが発生する(バッファアンダーラン) | <ul style="list-style-type: none"> ネットワークを使用している 書き込み中、マウスが移動したり、スクリーンセーバが起動したりする 他のアプリケーションが起動している | <ul style="list-style-type: none"> マウスの移動、スクリーンセーバの起動、他のアプリケーションの動作、ネットワークを使った書き込みなどでエラーが発生する場合、PCのCPUのリソース不足が原因 ネットワークからログオフ後、書き込み作業を行う スクリーンセーバまたはパワーセービングモードをOFFにする 作成ソフトウェア以外のアプリケーションを終了する |
| | PCのメモリ不足 | <ul style="list-style-type: none"> PCのメインメモリの容量が不足していると、ハードディスクのスワッピングが発生する。スワッピングが発生すると、ハードディスクからのデータが切断されて、バッファアンダーランが起こる メインメモリの容量を増やす |
| 「自動温度再補正」が働く | | <ul style="list-style-type: none"> BIOS設定で「自動温度再補正」をOFFにする OFFにできない場合は別のハードディスクを使用する |
| CD-R/RWメディアに問題がある | | <ul style="list-style-type: none"> CD-R/RWメディアに汚れや損傷がある。CD-R/RWメディアを交換する |

| 症状 | 考えられる原因 | 対策 |
|---|---|---|
| | ハードディスクの容量が足りない | <ul style="list-style-type: none"> 通常、データの書き込みには書き込み方法により1.2から2倍の容量が必要とされる |
| ドライブが認識されない | IDEケーブルとCD-RWドライブが正しく接続されていない 他のIDEデバイスと衝突している このCD-RWドライブに対応していない他の作成ソフトウェアを使用 | <ul style="list-style-type: none"> IDEケーブルのコネクタをメインボードとCD-RWのIDEポートに正しく接続する CD-RWのマスター/スレーブデバイス設定が同じIDEポートに接続されている他のIDEデバイスと衝突していないかどうかチェックする CD-RWドライブに同梱の作成ソフトウェアを使用する。他のソフトウェアを使用する場合は、このCD-RWドライブをサポートしているかどうかソフトウェアのサプライヤーに確認する |
| CD-RWに追加書き込みができない | 他の作成ソフトウェアで書き込みを行った | <ul style="list-style-type: none"> 以前に書き込みを行ったソフトウェアと別のソフトウェアを使う場合、エラーが返されることがある。常に同じソフトウェアを使用する |
| CD-RWに追加書き込みができない | CD-R/RWの容量が不足している | <ul style="list-style-type: none"> CD-R/RWメディアの容量はリードイン、リードアウト、TOCデータを含め最大650MB(74分タイプ)。データを追加できる容量が残されていない場合は新しいCD-R/RWメディアを使用する |
| ファイル名エラー、Windows95/98とWindows NT 3.51の不適合 | 書き込みにロングファイル名を使用 | <ul style="list-style-type: none"> Windows95/98/NT 4.0などで使用できるロングファイル名はWindows NT 3.51では使用できない。「Romeo」や「Juliet」を使って作成ソフトウェアで書き込みを行うとキャラクタエラーの原因となる。Windows NT 3.51上で使用する場合は、DOSタイプ(8+3形式)のファイル名にする |
| 高速で書き込みができない | CD-R/RWメディアが高速に対応していない バッファアンダーランが発生 CD-R/RWメディアに問題がある 同梱のソフトウェア以外の作成ソフトウェアを使用 | <ul style="list-style-type: none"> ディスクに対応した速度を使用するか、書き込み速度を落とす 「バッファアンダーラン」の項を参照 CD-R/RWメディアに汚れや損傷がある。CD-R/RWメディアを交換する CD-RWドライブに同梱の作成ソフトウェアを使用する。他のソフトウェアを使用する場合は、このCD-RWドライブをサポートしているかどうかソフトウェアのサプライヤーに確認する |